

SDGsをまるごと再考 個々の取り組みを方向づけるために

日時：2025年11月20日（木） 16:20～17:50
会場：香川大学幸町北525教室

- ・参加には登録が必要です（「SDGs学入門」受講生以外）。下記URLより登録をお願いします。
- ・Zoomによるオンライン配信を行います。下記URLより11月19日12:00までにご登録ください。

現在、世界規模でSDGsをキーワードとした活動が展開されている一方で、私たちが前提とする〈ものの見方〉を再検討せずに、小手先のアクションで「やった気になる」活動のあり方に対する批判もあります。既存の〈ものの見方〉を改めて検討し、行動するには何が必要なのでしょう。

今回は、東京大学文学部の中野裕考／高澤裕考氏をお招きし、SDGsを一つのパッケージとして見たときに、どのような問題が見えてくるか検討します。現代社会において、田舎（地方）から都市へ、自然から文明へという意識の流れが世界的に加速しています。この中でSDGsは都市型サービスを全人類に提供することを目標としていますが、そもそも都市型の生活形態は持続可能なのでしょう。なぜ都市化の流れは止まらないのでしょうか？こういった問いを通じて、問題の本質に迫ることを目指します。

講演：中野裕考／高澤裕考（なかのひろたか／たかさわゆうこう）

中野裕考（通称）名義では、東京大学准教授、博士（哲学）として、近世ドイツ哲学や現代ラテンアメリカ哲学を研究している。主な業績として、『カントの自己触発論』（東京大学出版会、2021年）、「いま、アンデスの地で「哲学の始まり」に立ち会う」『哲学』（2024年）などがある。

戸籍名の高澤裕考名義では、たねや食に関わるNPOや地元の有機農業団体に参加して、学問研究では果たせない社会活動に取り組む。

参加登録URL：<https://forms.office.com/r/Sk6Z9NAJF0>（QRコード→）

お問い合わせ：香川大学教育学部 寺尾徹研究室

Tel: 087-832-1590 E-mail: terao.toru@kagawa-u.ac.jp





SDGsをまるごと再考 個々の取り組みを方向づけるために

日時：2025年11月20日（木） 16:20～17:50
会場：香川大学幸町北525教室

- ・参加には登録が必要です（「SDGs学入門」受講生以外）。下記URLより登録をお願いします。
- ・Zoomによるオンライン配信を行います。下記URLより11月19日12:00までにご登録ください。

現在、世界規模でSDGsをキーワードとした活動が展開されている一方で、私たちが前提とする〈ものの見方〉を再検討せずに、小手先のアクションで「やった気になる」活動のあり方に対する批判もあります。既存の〈ものの見方〉を改めて検討し、行動するには何が必要なのでしょう。

今回は、東京大学文学部の中野裕考／高澤裕考氏をお招きし、SDGsを一つのパッケージとして見たときに、どのような問題が見えてくるか検討します。現代社会において、田舎（地方）から都市へ、自然から文明へという意識の流れが世界的に加速しています。この中でSDGsは都市型サービスを全人類に提供することを目標としていますが、そもそも都市型の生活形態は持続可能なのでしょうか？なぜ都市化の流れは止まらないのでしょうか？こういった問いを通じて、問題の本質に迫ることを目指します。

講演：中野裕考／高澤裕考（なかのひろたか／たかさわゆうこう）

中野裕考（通称）名義では、東京大学准教授、博士（哲学）として、近世ドイツ哲学や現代ラテンアメリカ哲学を研究している。主な業績として、『カントの自己触発論』（東京大学出版会、2021年）、「いま、アンデスの地で「哲学の始まり」に立ち会う」『哲学』（2024年）などがある。

戸籍名の高澤裕考名義では、たねや食に関わるNPOや地元の有機農業団体に参加して、学問研究では果たせない社会活動に取り組む。

参加登録URL：<https://forms.office.com/r/Sk6Z9NAJF0>（QRコード→）

お問い合わせ：香川大学教育学部 寺尾徹研究室

Tel: 087-832-1590 E-mail: terao.toru@kagawa-u.ac.jp

